

6 郡市活動報告

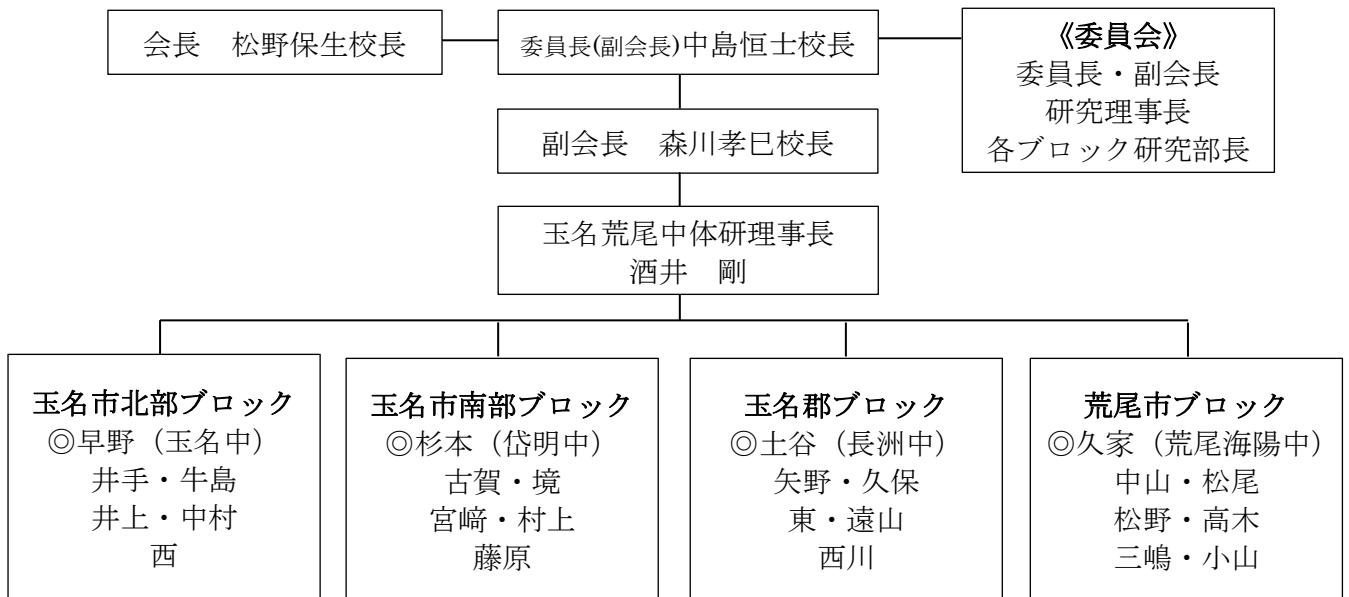
玉名荒尾中体研

理事長 酒井 剛

1 はじめに

玉名荒尾中体研は、松野保生会長（玉南中学校）、中島恒士委員長（菊水中学校）を中心に玉名郡市13校、荒尾3校の体育担当で構成されている。今年度も予定されていた活動が制限される中、オンライン会議で新学習指導要領に沿った学習評価の改善やICTの活用について研修を行い、各校での成果と課題を共有した。この取り組みを土台とし、来年度以降の実践・研究へとつなげていきたい。

2 研究組織



3 活動状況

会議等	期日	内容
1 教育会教科等全体会	4月21日(水)	感染症拡大のため中止
2 第1回教科等研修会(実技研)	8月18日(水)	オンライン研修「学習評価・ICT活用について」
3 第2回教科等研修会(授業研)	10月26日(火)	感染症拡大のため中止
4 第17回熊本県学校体育研究大会(オンライン開催)	11月18日(木)	熊本市 会場:益城町総合体育館
5 第2回評議員会	2月16日(水)	年間活動報告・反省 来年度への志向

研究テーマ

積極的に運動に親しみ、活力のある児童生徒を育成する保健体育学習のあり方
～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習評価の改善～

内容1
学習評価改善
の研究

内容2
I C Tを活用
した授業研究

内容3
小・中連携
取組の継続

内容4
実技研修会の
実施

内容5
授業研修会の
実施

5 研究の概要

(1) 学習評価の改善について

新学習指導要領では、各教科の目標及び内容が、育成を目指す資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう人間性等」）に沿って再整理された。これを踏まえ、評価の観点についても従来の4観点から3観点到整理された。そこで、保健体育科における「見方・考え方」や「内容のまとまりごとの評価規準」作成の手順、評価・評定の算出について、講話と資料を基にオンライン研修を行い各校の現状や疑問点等を協議した。また、評価作成ツールの情報共有も行った。



オンライン研修の様子

(2) I C Tを活用した授業改善の研究

保健体育の体育分野においては、活動そのものの低下を招かないよう留意しながらもI C Tを積極的に活用することが求められている。また、各学校においてもタブレット等の端末導入がなされた。しかし、授業における効果的な活用はまだ進んでいない現状がある。

今回は文部科学省の研修資料を通して、効果的な活用例や1人1台による学習等の効果について研修を行った。各市町で導入している端末が異なるため、当初は会場校で同じ端末を導入している学校ごとにグループ協議を行う予定だったが、オンライン研修となったため講話と質疑応答、全体協議に変更した。年度末には各校で今年度作成した指導案、構想案、学習カード、プレゼンテーションをとりまとめ、配付した。

6 まとめ（成果と課題）

全員集合しての研修会が開催できず従来のように研究を深めることが難しくかったが、学習評価やI C Tの活用について各校で情報共有・協議しながら実践を続けた。今後もこのような形での開催が続くのであれば、オンラインでのグループ協議等の工夫も加えたい。また、来年度から令和6年度熊本県中学校体育研究発表大会玉名荒尾大会へ向けた研究を本格化していきたい。